

科目名称	日本語表現	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 前期	1	30
担当教員	新井 恵	授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

実践的な学習活動を通じ、自らの考えを「ことば」で主体的・論理的に表現する能力を習得する。

【2】 学習目標

1. 文章を論理的に理解することができる。
2. 自らの考えを「ことば」によって主体的・論理的に文章に表現することができる。
3. 実際の対人関係において、自らの「ことば」を実践的に使用することができる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	日本語表現の基本(1)	講義
2	日本語表現の基本(2)	講義
3	日本語表現の実践(1)	講義・演習
4	日本語表現の実践(2)	講義・演習
5	日本語表現の実践(3)	講義・演習
6	日本語表現の実践(4)	講義・演習
7	日本語表現の実践(5)	講義・演習
8	日本語表現の実践(6)	講義・演習
9	日本語表現の実践(7)	講義・演習
10	日本語表現の実践(8)	講義・演習
11	日本語表現の実践(9)	講義・演習
12	日本語表現の応用(1)	講義・演習
13	日本語表現の応用(2)	講義・演習
14	日本語表現の応用(3)	講義・演習
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

ミニレポート(60%)、試験結果(40%)の結果を総合し評価する。

【6】 教科書

随時プリントとして配布する。

【7】 参考書

講義中に適宜紹介・使用する。

【8】 受講生へのメッセージ

進捗状況によってはシラバスを変更する場合がある。

正しい日本語表現を身につけることは、日常生活をより豊かなものへと導き、社会人としての基礎力を身につけることに繋がります。実践的な学習によって、幅広い日本語表現能力の獲得を目指しましょう。